

体験入部2日目は、ム・ネッティ社長が請け負う。初めに女子バスケット部を訪

続・体験入部



問。ドリブル練習では、チームを2つに分けての競争だ。ム・ネッティ社長のチームが優勝する。当然の結果だ。レイアップシュート、フリースローと練習は続くが、2・3年生が1つ1つていねいに、やり方を1年生に教えている。さすが、先輩だ。1年生も楽しそう。次に女子バレー部。ここでも2・3年生が1年生とペアを組み、パス練習をしていた。ちゃんと後輩の面倒を見てくれる先輩に感謝！ム・ネッティ社長の相手をしてくれた中里菜睦さん（3年生）に「両手で三角形をつくるように」とトスのあげ方を指導してもらうが、これがなかなか難しい。中里さんはいとも簡単にトスを上げているのに……。バレーボールは初心者という鈴木愛華さん（1年）は、『「ハイキュー」を見て、バレーボールをやりたいと思いました。実際に体験してみたら、先輩たちも優しくとても楽しかったです。』と感想を話してくれました。その後のレシーブ練習では、私の時だけわざと取れそうもない所にボールが落ちてくるように感じた。廣谷先生は、私に恨みでもあるのだろうか。疑念をいだきつつも、さらに男子バレー部のレシーブ練習に参加。なかなかうまくレシーブが上がらない。すかさず後藤陽斗くん（3年）が、「肩を内側に入れると、ボールはその方向に飛んでいきますよ」とアドバイスをくれる。やってみると、その通り、うまくいった。将来、いい指導者になれるかもしれない。気持ちよく、次のテニス部の練習に向かう。2・3年生が別々のコートで練習していたので、3年生の練習にまざる。男女一緒に、テニスを楽しみながら和やかに練習している姿が印象的だった。その雰囲気助けられ、ム・ネッティ社長も気持ちよくテニスをすることができました。生徒のみなさん、ありがとうございました。さて、今日はどこに行こうかな？



道

三年二組 加藤瑚雪

私の目の前には道がある
それは枝のようにわかれていて
ゴールが見えないほど遠い
進み方がわからず
しゃがみこんでしまっ
でも 誰かが手を出して
立ち上がらせてくれる
そんな人がたくさんいる
その人が進み方を教えてくれる
だから私は歩くことができる
道を進んでいくと
誰かがいる
しゃがみこんで泣いている
そんな時は背中をさすって
手を差し出す
そんな人になれるよう
私は歩く

